

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

作成日：2022年 3月 3日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	国際関係		
講師幹事名	鹿取克章	大学教員	
学期	2022年(春夏)・秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

本年2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻した。国際社会の圧倒的多数は、ロシアの違法な武力の行使を強く非難している。今回の露骨な武力による威嚇及び行使は、国際社会が今日においても多くの不確実性及び脆弱性を抱えていることを改めて赤裸々に示すこととなった。

人類は様々な挑戦を受けており、国際社会には多くの不安定要因が存在する。この数年来、感染症が世界を揺さぶっており、地球環境の破壊も進んでいる。深刻な紛争はいたるところで見られ、国内的にも国際的にも拡大する経済格差は、社会の緊張を高めている。国際社会においては強権的及びポピュリズム政治の広がりもみられ、尊大な政治運営、表現の自由の圧迫、非寛容性、民族主義的議論など自由な民主主義 (Liberal Democracy) の価値観に対する挑戦も続いている。

本ゼミでは、予断を許さない国際情勢の中で、国際社会はどのような行動原理で動いているのかについて概観した上で、様々な国際問題について理解を深め、また、国際経済関係においては、今後の国際経済秩序がどのように発展するか占う視点を養う。さらに、日本として、また市民として国際社会が抱えている様々な課題にどのように対応していくべきのかなどについても議論を深める。

【上記目的・目標達成方法】

外務省OB及び現役から、体験談を含め現下の主要な国際問題、外交問題につき話を聴き、共に考え、議論する。国際経済関係については、交渉現場の視点を入れながら具体的事例に即して各国の政策意図を分析し、多角的国際経済システムへの影響を議論する

【授業の内容と計画】

月日	講師名	卒年 学部	社名・役職 (※役職は作成日現在)	講義内容
4月20日	鹿取克章	S48 (経)	元駐インドネシア大使	第4限：国際社会の基本構造 第5限：discussion—近隣諸国との関係 (日韓関係)
5月2日 (月)	河合真由美	H19 (法)	外務省領事局政策課首席事務官	コロナ対策における外務省の役割等
5月11日	角茂樹	S51 (商)	元駐ウクライナ大使	ウクライナ問題、その原因と今後、国連はどのように対応できるのか。日本の憲法9条はどのように解釈すべきなのか。
5月25日	鈴木庸一	S50 (法)	前駐フランス大使	20世紀に形成された国際経済ルールがなぜ今日機能不全に陥っているか？国際貿易体制の沿革を振り返り、今日の国際関係に照らし課題を議論する中で今後の方向性を考察する

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

6月8日	竹内春久	S50 (経)	元駐シンガポール大使	<p>第4限: 日本の置かれた地理的、地政学的条件を概観し、日本国憲法のもとにおける外交の制度的枠組み、指導理念を論ずる。</p> <p>第5限: 中東、欧州における地域協力、地域統合の現状を概観した後、アジアにおける地域協力の現状、特徴を論ずる</p>
6月22日	齋藤貢	S55 (社)	前駐イラン大使	<p>第4限: 最近の中東情勢と日本の対中東政策について解説します。</p> <p>第5限: 日本の外交官は、外国で何をしているのか?</p>
7月6日	角茂樹	S51 (商)	元駐ウクライナ大使	<p>人権問題、人権とは何か、人権はどのような保障制度ができているのかを世界人権宣言を中心に考えます。</p>

【テキスト・参考文献】

- Hans J. Morgenthau: “Politics among Nations” (初稿は1948年。大著であるが、多くの人が認める国際政治に関する最も包括的かつ優れた文献。読破することは容易ではないが、時間的余裕があれば、少なくとも最初の部分だけでもページをめくり、論理の流れを把握できれば、得るところは多い) (鹿取講師)
- Joseph S Nye, Jr.: “Soft Power” 比較的読みやすいのでご関心があれば目を通す価値あり(鹿取講師)
- Asia Society Policy InstituteのHPのPublicationsのページに掲載されている“Responding to trade coercion” report. (鈴木講師)
- 日本国憲法、外交青書2021(総論部分)、防衛白書2021(総論部分)。その他の資料については授業日前に連絡(竹内講師)
- 齋藤貢: 「イランは脅威かーホルムズ海峡の大国と日本外交」、岩波書店。特に第1部、安倍総理(当時)の対イラン外交の箇所が重要。(齋藤講師)

【受講生に対するメッセージ、希望】

- ゼミの前に第二部のdiscussionの段取りをご案内しますので、第二部は、事前に準備の上、ゼミテンの方の司会のもとにdiscussionをしていただきたい(鹿取講師)。
- ゼミの前に最近の事象をいくつか示すのでそれがどのような内容であるか調べて簡単なプレゼンを準備して欲しい(鈴木講師)。
- 学生の方々からの積極的な疑問、問題提起を歓迎します。